

あたらしい絵本 No. 468 2024. 3. 27



『**パンダおかおたいそう**』 **いりやま さとし**
・耳をつまんだり、ほっぺを膨らませたり、口をぱくぱく開けたり閉じたり、舌をべろーんと出したり…。パンダといっしょに顔を動かして、いろんな動物になりきろう! 「パンダたいそう」シリーズ第8弾。(幼0~2歳)



『**すこしとおくへ**』 **きくち ちえ/え**
・ぼくとくろは、いつもいっしょ。自転車にのって、少しはなれたところにも行く。あるとき急に、くろが走りだした。線路をこえて、道路をこえて、畑をこえて…どこに行くの? 少年と犬の世界がひろがった日のできごとを描く。(幼0~5歳)



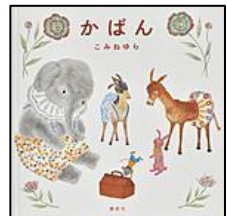
『**ひみつのラーメン屋さん**』 **黒岩 まゆ**
・ラーメンが大好きなてんちゃんは、町で人気のラーメン店におかあさんと行きました。店のトイレに行こうとすると、気になるドアが。ドアを開けて長い階段を下りたてんちゃんは、店の地下に広がるひみつを知ってしまい…。(幼0~5歳)



『**ゆきってなあに?**』 **さく/ユーヴァル・ゾマー**
・春にうまれたキツネとウサギは、まだ雪をみたことがありません。「雪ってなあに?」と、ふたりは森のなかまたちにたずねていきます。「雪っていうのはね…」動物たちからもらった手がかりで雪をみつけられるのでしょうか。(幼0~5歳)



『**まいごのコールテンくん**』 **絵/ジョディー・ウィーラー**
・もうすぐリサのお誕生日。くまのぬいぐるみのコールテンくんはプレゼントを探すため、こっそり家を抜け出しますが…。「くまのコールテンくん」「コールテンくんのポケット」の続きのお話。(幼0~5歳)



『**かばん**』 **こみね ゆら**
・野原に落ちていた鍵のかかったかばん。そうさんが持ち上げて、ろばさんが引っ張っても、やぎさんが噛んでも、かばんは開きません。そこへ、誰かがやってきて…。かばんをめぐる、ちいさなお話。(幼0~5歳)



『**100ぴきかぞく ゆうえんちへいく**』 **古沢 たつお**
・100ぴきのねこのかぞくが、遊園地にやってきました。乗り物に乗ったり、ショーを見たり、お弁当を食べたり…。それぞれ違った個性をもつねこたちがかわいい、探し絵も楽しめる絵本。(幼0~5歳)

新しい絵本はほかにもあります。貸出中の時は、予約をしていただくと本が戻ってきた時、連絡します。電話での予約も受け付けていますので、お問い合わせください。



『おふろさん』 せきぐち ひろみ

・いつも気持ちよさそうにおふろに入るけんちゃんを見ていたおふろさんは、どうしてもおふろに入ってみたくになりました。大きなおふろをめざして、こっそりおうちを抜け出すと…。お風呂の時間が楽しみになる絵本。
(幼0～5歳)



『ひみつのたからもの』 豊福 まきこ

・ここは、ネコだけがすむネコの村。ネコたちはみんな、お魚を食べたり、小鳥をつかまえるのが大好き。でもその中に、お魚が食べられないネコと、小鳥をつかまえようとしなないネコがいました。2ひきには、あるひみつがあって…。 (幼0～5歳)



『いじわるブーはおおうそつき』 さく／アーロン・ブレイビー

・「おやつをぜんぶ食ってやる!」 またもやヤツの登場だ! 世界で一番欲張りな、いじわるパグのブー。今度は、まっかなうそばかりついてるよ。いつになったら反省するの? 「いじわるパグのブー」に続くコミカル絵本第2弾。
(幼3～5歳)



『まっしろしろくま』 柴田 ケイコ

・食べることが大好きな、くいしんぼうのしろくまは、「しろい食べもののなかに入ったらどんなかんじかな?」と想像してみることにしました。とうふ、牛乳、そうめん…。どうなるかな? 「しろくま」シリーズ第9弾。
(幼3～5歳)



『いまのきもちはどうないうっ?』 えがらし みちこ

・「おはよう」から「おやすみ」まで一日の中でも気持ちは変わっていく。気持ちは伝えることで分け合うことができる。伝え方は色々あるよ…。自分の感情をうまくことばにできない子どもたちの心の声をひきだす絵本。
(幼0～5歳、小初)



『へびのくび』 絵／きくち ちき

・へびくんととかげちゃんは大のなかよし。とかげちゃんが、くもの巣と花びらと葉っぱでスカーフをつくり、へびくんのくびに巻こうとしますが…。へびのくびって、どこ? 『キンダーメルヘン』2020年12月号を書籍化。
(幼3～5歳、小初)



『ぼくはふね』 五味 太郎

・嵐で大荒れの海。小さな船はヘリコプターに吊り上げられて助けられますが、陸の上に置かれてしまいます。もうどこへも行けないと嘆いていると、他の船がやってきて「その気になれば、どこだって進めるものだよ」と声をかけ…。 (幼3～5歳、小初)



『キングコングのいところ』 作／マーク・ティーク

・ジュニアは、有名なゴリラ・キングコングのいところ。コングはいつだってカッコいいんだけど、ジュニアの毎日は、いたって普通で…。ママとねこと暮らしている、ジュニアの日常をほのぼのと描きます。(幼3～5歳、小初)